

地域へのお役立ち

地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援



■ 小浜市と包括連携協定締結

9月5日(火)、小浜市と包括連携協定の締結式を行い、松崎市長と松宮理事長が協定書に調印しました。

これまで小浜市とは、2022年からフードドライブの連携や、アルツハイマー月間での認知症啓発活動などの取り組みを進めてきましたが、このたびの包括連携協定で「SDGs」「脱炭素社会」「地域福祉」など11項目について、長期的な連携を進めていくことを確認しました。

県民せいきょうが、県内の自治体と包括連携協定を結ぶのは、2017年9月南越前町・南越前町商工会河野支部・南越前町河野観光協会・株式会社ファミリーマートとの5者連携協定、2019年9月鯖江市、2020年9月越前市、2021年9月大野市に続く5例目です。

項目	23年度	22年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	362件	343件	105.5%



■ 食と農の温室効果ガス削減運動の連携協定締結

2023年6月、越前市、JA越前たけふ、越前市社協、県民せいきょうの4者で、「地域一体型 食と農の温室効果ガス削減運動に関する連携協定」の締結式が行われました。

協定では、地域一体となって、生産から流通、消費まで、食と農を通じた温室効果ガスの削減を行うための様々な施策を連携していくことを約束しました。



■ 鯖江市と「災害時における指定福祉避難所の設置運営に関する協定書」締結

2023年8月、鯖江市が個別避難計画作成者の福祉避難所への直接避難を促進することを推奨し、個別避難計画作成者を対象に直接避難を実施するため、有事の直接避難に向けた指定福祉避難所の設置運営に関し、協定締結を行いました。



■ 生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ活動・子ども食堂への食料支援

フードバンクは、2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回、社会福祉協議会や自立支援センター、子ども食堂を通じて生活困窮者や必要としている家庭に提供しています。2016年からは、宅配の予備食品を子ども食堂(7団体)に提供することで食品ロス削減に取り組んでいます。2022年度は、食品提供事業者のネットワーク「福井県フードバンク連絡会」を設立し(2024年4月現在18団体)食品収集と提供のしくみを構築しました。

フードドライブは、2019年からハーツ10店舗と介護施設さらめき2ヶ所において家庭で余っている食品を集めて、福祉施設や子ども食堂に提供しています。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。現在、福井市・鯖江市・越前市・大野市・小浜市・若狭町など自治体と共同の取り組みに広がっています。

■ 2023年度実績

項目	回数	数量(点)	重量(t)	金額換算(千円)
フードバンク活動	4回	34,867	10.6	1,144
宅配の予備食品の子ども食堂への提供	12回	8,811	—	3,796
フードドライブ活動	11回	8,323	2.4	—

※フードバンク活動の数量は連絡としての点数と重量、金額は店舗ハーツからの拠出額



▲23年12月18日福井県フードバンク連絡会と子ども食堂ネットワークふくいとの交流会



▲23年12月6日福井市木田小学校の児童25名が162点のフードドライブ食品をハーツ羽水に持参いただきました

■ 協同組合連携による県内学生への食料支援

JA福井県や漁業協同組合と連携して2023年12月に県産の米や缶詰などを物価高で困窮している県内5大学540人の学生にプレゼントしました。



■ ドローン実証実験

福井新聞社、ふくいレインボーファームとの連携のもとドローンを使った食料品等物資の輸送にかかる実証実験を実施しました。県内では過疎化が進む一方で自然災害も頻発しており、住み慣れた地で安心して暮らし続けるためのインフラ整備は重要な課題の一つとなっています。この実証実験を通じ、県民の生活物資調達のために向けた新しいインフラの可能性を探っていきます。

